妊娠高血圧症候群　帝王切開ケアパス

氏名　　様　　主治医　　助産師

	帝王切開当日　　／	術後１日目　　／
観察	定期的に体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。	１日４回体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。 適宜乳房マッサージを行います。
生活動作	手術後、ベッド上安静になります。 麻酔が切れてきたら、血栓(血が固まって詰まること)予防の為に積極的に足を動かしたり、体の向きを変えたりしましょう。 手術後の歩行は状態に合わせて鎮痛薬を使用し、痛みをコントロールしながら行います。 手術後は体調に合わせて無理のない範囲で、マタニティプランに沿って育児を進めていきます。 赤ちゃんは新生児室でスタッフがお預かりしています。 歩行後は体調に合わせて、マタニティプランに沿って育児を進めていきます。	
食事	術後の状態に合わせて２時間後から飲水開始、問題なく飲水できればゼリーが食べられます。食事は６−８時間後から軟菜食（主食全粥）が始まります。食事開始が 18 時以降の場合は食事の提供はありませんが、持ち込みのゼリー飲料を食べられます。	
清潔		体を拭きます。
排泄	手術中から排尿用の管が入ります。歩行ができるようになったら排尿用の管を抜きトイレにいけるようになります。排便時の対応は、状態により対応しますので看護師にご連絡ください。 初めてトイレに歩く時は、安全に歩行できるよう確認しますので看護師にご連絡ください。 管を抜いた後は、尿意を自覚しにくい事がありますので、３時間以内にはトイレに行きましょう。 排泄後はクリーンコットンを使用しましょう。	
診察・処置	アレルギーの有無を確認します。 心電図モニターをつけます。 手術前に血栓症予防のストッキングを着用します。	
薬物療法	手術後、水分補給の点滴を行います。 痛み止め・吐き気止め等適宜使用できます。 喘息やてんかんの既往により薬剤を変更します。 状態により子宮収縮剤を追加することがあります。 状態により血圧を下げる点滴やけいれんを防ぐ点滴を行います。 適応のある方は血栓症予防の注射を行います （3〜5 日間）	状態により血圧を下げる薬が処方されます。 適応のある方は血栓症予防の点滴を行います。 （3〜５日間）
説明・指導	病棟のご案内、必要書類の確認をします。 ガスリー検査用紙・返信封筒・赤ちゃんの診察申し込み用紙をお渡しします。 「産後のお母様方へ」というファイルをお渡しします。ご覧ください。 入院診療計画書をお渡しします。 へその緒をお渡しします。 出生証明書、母子手帳は後日お渡しします。 お急ぎの場合はお伝えください	
目標	バイタルサインが安定している。鎮痛剤を使用して痛みのコントロールができる。 ふらつきなく歩行することができる。	

2019 年 7 月作成(2023 年 11 月改訂)　パス委員会承認　聖隷浜松病院　MFICU

妊娠高血圧症候群　帝王切開ケアパス

氏名　　様　　主治医　　助産師

	術後２日目 ／	術後３日目 ／	術後４日目 ／	術後５日目 ／	術後６日目　／ ～退院日まで
観察	１日４回体温、脈拍、血圧、血中酸素飽和度、呼吸数を測ります。 毎朝食事の前に体重を測ってください。				
	適宜乳房マッサージを行います。				
生活動作	制限はありません。 体調を考慮しながらマタニティプランに沿って育児を進めていきます。				
食事	授乳食が出ます。　選択食から選ぶこともできます。				
清潔	シャワーを浴びる事ができます。				
排泄	トイレに行けます。尿は蓄尿袋の中に全部入れてください。毎朝５時 59 分にトイレに行ってください。				
診察・処置	シャワー前、看護師が傷の観察を行います。 看護師にご連絡ください。			医師が創部診察・ 子宮内のエコーを行います。	
検査	適宜採血・蓄尿の検査をします。（蓄尿検査の日は 24 時間分の尿で検査します）				
薬物療法	症状に応じて処方します。 対象の方に希望により麻疹・風疹ワクチンを接種します。				
説明・指導	・退院までに薬剤師が使用薬の効果・副作用の確認にお伺いします。 ・退院日は医師が決定します。入院中の指導は別紙参照してください。退院が延びる場合がありますので、体調に応じて受講日をスタッフと相談しましょう。個別対応もできます。 ・退院後には、母乳外来か産後２週間健診を受講しましょう。 受講については助産師に相談してください。 ＊母乳外来：授乳相談、乳房マッサージ等を行います。 ＊産後２週間健診：助産師による身体と心の健診です。公費券が使用できる地域もあります。 ・ナースステーション窓口で母子の１ヶ月健診の予約を取りましょう。 ・退院時、退院療養計画書をお渡しします。				
目標	バイタルサインが安定している。 赤ちゃんとの生活がイメージできる。 退院後に向けた指導を選択できる。 自分の体調に合った育児・授乳方法・搾乳方法を選択できる。 産後の注意点がわかる。				退院ができる。

症状・経過によってはスケジュール通りにならない場合があります

2019 年 7 月作成(2023 年 11 月改訂)　パス委員会承認　聖隷浜松病院　MFICU